

IGM 報告

8 班 森下傑君



皆さんこんにちは
8 班は昨日 IGM を
やりまして、場所は
五鱗でした。メン
バーは漆畑会長、博
文さん、賢一さん、
杉浦さん、加藤さん、

自分の 6 名でした。

①テーマがガバナー輩出年度に向けた体制作り

②青少年交換事業の取組みもクラブとしてどの
様に関りを持ったら良いか

地区大会では藤枝南らしく一枚岩となり皆で協
力してやる事

青少年は藤枝南で良かったと思えるような環境
をつくり迎えたいとまとまりました。

テーマの話が終わっても食べて飲んでして 2 軒
目に芳蘭に行きました。チャーハン ピータン
青椒肉絲 餃子 麻婆豆腐 パイコーはん 紹
興酒 2 瓶を平らげて楽しく終わりました。あと
杉浦さんの会社の YouTube を観させてもらい会
社の中の風景が見れたりインタビューを受けて
る従業員さんが素敵でした。以上 8 班の IGM、
楽しかった夜の報告でした。

7 班 古川賢吾君



みなさんこんにち
は。IGM 第 7 班の報
告を致します。本来
であれば、小嶋サブ
リーダーが報告予
定でしたが急遽欠
席の連絡があった

ため、私の方で報告いたします。そんなことで話
を全く纏めていませんがご容赦ください。第 7 班
は、2 月 19 日（水）18:30 より「和の心 つ
げ家」で開催しました。出席メンバーは、佐野芳
正さん、内山さん、樽井さん、湊脇さん、小嶋さ
ん、古川の計 6 名です。テーマは、「ガバナー輩出
年度に向けた体制作り」ということで、MY ロー
タリーから、2620 地区の基礎資料を用意して
話をしました。地区の事業や組織を知ることがで
きました。その中でクラブとしては必要なことは
コミュニケーションだと思いました。経験豊富な

先輩方と、若手メンバーが常に対話することで、
目的を共有し、「Enjoy ロータリーの精神」を忘
れずに体制作りをしていければ良いと思います。
その後は、内山のアンチエイジングのお話しや佐
野さんの宮古島のお話し、樽井さんの日本酒の飲
みっぷり、冷静な湊脇さんのツッコミなど様々な
話題を肴に美味しいお酒を飲んで（飲みすぎて）
楽しい IGM となりました。ありがとうございました。

6 班 山田幸保君



第 6 班の IGM は、
数野リーダー、植田
さん、竹田さん、渡
邊芳隆さん、松浦さ
ん、山田の 6 名で、
2 月 18 日（日）に
中華料理店 t r a

d で行いました。美味しい料理とお酒に舌鼓を打
ちつつも「ガバナー輩出年度に向けた体制づくり」
というテーマについて真剣に話し合いました。

テーマに対しては 6 名全員が

① ホストクラブとして襟を正す。プライドを持
ち、恥ずかしくない対応をする。

② これまでの親睦を中心としたクラブの雰囲気
に変化が生じるが、メンバー全員が関わりを
持ち、一部の人だけが大変な思いをすること
のないようにする。

という意見で一致しました。

またその後も、藤枝南クラブの将来像（ロータリ
ーの「求められる姿」）へと話が進み、「『藤枝南と
いえば』と言われるような奉仕事業の必要性を感じ
る」「（歴史ある）サッカー大会とは別に、メン
バー自身が汗をかくような奉仕や、継続性のある
奉仕はどうだろうか」「藤枝南の親睦を中心とし
たスタイルだからこそ退会者が少ない」

と様々な意見が出ました。こちらは全員が一致と
いう訳には行きませんでした。どの意見からも
クラブへの深い愛情が伝わって来ました。入会か
ら 1 年半、私にとっては 2 回目の IGM でしたが、
本当に素晴らしいクラブに加えていただけたと
感謝しました。

5班 佐野博己君



皆様こんにちは、
2024-2025年度イン
フォームドグルー
プミーティング
(IGM)の発
表をさせてい頂
きます。

IGMについて調べてみました。IGMとは「ファイヤーサイド・ミーティング」が正式名称で海外のビジネスコミュニティーで良く行われている形式のトークイベント。直訳すると「暖炉脇の会話」となるこのスタイルは、ラフな会話を覗き見するようにカジュアルに参加できることが特徴。現在、言葉そのものは「手続要覧」にはみられないが、実態として各クラブで様々な名前でも集会が行われている。ファイヤーミーティングと呼んでいるクラブもあるそうです。

では、5班のドリームチームを紹介します。小林さん、稲葉さん、早川さん、増田陽子さん、サブリーダーに森竹さん、私佐野がリーダーとなります。

先週の水曜日に同グループでは2回目のミーティングを開催しました。残念ながら早川さんは欠席でしたが体調が善くなり安心しました。色んな話題が出てメンバーが盛り上がり2時間オーバーによる会となりました。

いくつかの話の中で

例会での音楽を生演奏にしたのは藤枝南RCが先駆けで、これは富澤会長の案と初めて教えてもらいました。やはり富澤会長はすごい方だと改めて感じました。

ガバナー排出に関して、時間の無い中ではあるが色んな意見を出し合い議論して決定したら一致団結してその方向へ向かうべきだと思う、という意見がありました。

若林ガバナー予定者には藤枝南RCを代表して出て頂けるので是非頑張って頂きたい！と参加者全員の意見が一致しました。

まとめになりますが

今ある藤枝市をフル活用して、全国ロータリークラブの中でも藤枝南RCモデルが先駆けとなれたら嬉しい事ではないでしょうか！

「藤枝南RCらしさ！」を出すことが一番大切ですね、とこちらも参加者全員の気持ちが一致しておりました。

そして、IGM開催によりロータリーの友情を深めることが出来た事を光栄に感じております。

余談ではございますが

増田陽子さんがIMにてエレクトーン生演奏をされますので応援よろしくお願い申し上げます。ご清聴ありがとうございました。

4班 小池吉徳君



4班の打合せは、2月19日に志太豊さんで行いました。

テーマに沿って意見を聞く中、渡辺哲朗さんが毎日行っている

「スクワット」に注目が集まりました。30回を2セット。腰の落とし方は、ちょうど椅子に座るくらいのところまで。柔道有段者であると言う渡辺さんの話しは、とても説得力があるものでした。会が進んで色々意見が出ていく中、改めてふと案内の紙を見てみると、テーマが「体力作り」ではなく「体制作り」だったことに気が付きました。軌道修正を試みますが、「いや、待てよ。体力作りをして、健康体で臨むことこそ大切なことでは！」との話しになりました。

4班の結論

「みんなで体力作りに励み、健康体でガバナー輩出年度に臨もう」となりました。

最後になりますが、鈴木寿幸さんがたまに口にする「何言っちゃってるの？」という言葉。焼津の方言らしいのですが、聞く人によってはきついというか失礼な言い回しになってしまうそうです。もし鈴木さんからこの言葉が出てきた際には、皆さん優しく「今出ちゃってたよ」と教えてあげてください。

ありがとうございました。

3 班 桑原茂君



テーマ 1：ガバナー排出年度に向けた体制作り
2023 年 11 月に準備委員会が設置され、各委員会がガバナー年度に向かい活動

しています。2025 年 7 月にはエレクト年度に入り 1 年後にはあつという間にガバナー年度となります。まさしくこの 1 年が大切な年になります。

先日 IGM 会議で若林会員(ガバナー・ノミニー)とご一緒させて頂き、現状の問題として静岡地区大会の開催場所が未だに決まっておらず、大変苦労されていると聞きました。1,500 名近い人数を収容し、パーティーを行うことのできる会場を確保する事は非常に大変なことであり、実行委員会だけでなく藤枝南ロータリーメンバー全員で、この様な問題を共有し知恵を出し合うことが大切ではないかと感じました。今後起こり得る困難な事象に対しても同様に全員で取組む体制が必要です。

既に準備委員会は設置され、ガバナー輩出に向けた体制はできていますが、藤枝南ロータリー全員が情報共有し、共通した意識を以て若林ガバナーを支えて行かなければならないと思います。

テーマ 2：交換留学生を迎えるにあたって
交換留学生を迎えるにあたり、先般の稲葉会員の卓話と若林会員が留学生を受け入れた時の話を伺い、受入れ先以外の会員の留学生との接し方をして幾つか提案がありました。

まずは、留学生を受け入れることになっている 3 世帯を除き、IGM の 8 つのグループで休日等の生活や活動等を補助し、受入れ先の負担軽減を行う。但し過度な接待を行わないよう、事前に計画を立てておくことが必要と思われる。留学生はまだ高校生であり、受け入れ先や IGM グループで過度な接待は止め、ありのままの日本の生活を体験させる様注意しなければならないと思います。

留学生には、藤枝南ロータリークラブ全員で受け入れて頂いたと感じてもらうことが大切だと思います。

最後に、留学期間が終り帰国した後も、近況報告等頂けるような関係作りをして行けたらと思います。

2 班 大村和宏君



1 班 村松章典君



1 班 朝比奈会員、江崎会員、富澤静雄会員、山田壽久会員、サブリーダー杉山会員、リーダー村松、計 6 名参加

テーマは、ガバ

ナー輩出年度に向けた体制作り、次年度、次々年度とこれからのクラブは何をしていかなければならないか又持続可能なロータリークラブとして必要なことは何かについて

まずは、会員の健康管理、会員の事業所の健康、健全な経営を基にロータリー活動を行うこと。そしてキーワードとして、女性の会員もいらっしゃいますが、男気、原点、楽しく、助け合う等が必要である

男気は、やはりトップに立つ方が重要又必要になってくる。

原点は、藤枝南ロータリークラブが、30 数年の歴史がある中、発足当初からを振り返り今後も語り繋げていく。

楽しくは、例会に来る事が、楽しみになる様にする事。

助け合うは、クラブ会員同士仲間意識を持ち、コミュニケーションをとること。以上 1 班の内容となります。ありがとうございました。

佐野芳正君



2025-2-28 I G M 報告についてコメント

次週、3 月 8 日は I M の実施日となります。

担当役員の皆さまは最終の確認作業をされています。

第4グループの登録者200名が参加の予定です。

スマイルでお迎えし、スマートな運営ができますようご協力をお願いします。

IMを乗り越えると、いよいよガバナー年度に向けて本格的な準備が始まります。

今回、IGMで与えられた「ガバナー輩出年度に向けた体制作り」は、グッドタイミングのテーマです。

先週、21日の例会では、今後2年間のクラブ組織と地区組織を一覧表にして説明し、全体像を把握していただいたと思います。

この表から読み取って欲しいことは、クラブ組織が基本にあり、会員全員で若林さんを始め地区出向者を支援していくことです。

私は、これまで出向グループとそれ以外の会員は分離しているように感じていました。

しかし、IGMの報告の中で、まず会員相互の親睦を深めることにより絆を築き、

その上で出向する皆さんを送り出し支援して行くとの発表に大変感動しました。

地区出向者は、現在13名です。

各テーブルには平均2名がいることになります。

「今、地区活動はどんなことが行われているのか、これからの予定」などを質問したり、答えたり、今回のIGMをきっかけに、話し合いを継続していただければ幸いです。

例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
3/8(土) 第1587回	IM	小杉苑
3/14(金) 第1588回	臨時クラブ年次総会・ IM報告	小杉苑
3/21(金) 第1589回	早朝例会	
3/29(土) 第1590回	座禅&桜花鑑賞	富洞院

今週の一言

樽井勉君



今から40年前、1985年から2年ほどヨットにはまりました。25で野球をやめ、暇で毎日駅前の「たにまち」で酒を飲んでいました。となりで飲んでいた55歳の親父さんが、酔っぱらって「ヨットで八丈島へ行こう!」という話になりました。それから、毎週末に、酒は辛口「剣菱」を2本持って清水の三保マリーナに行き、ヨットに泊り、土肥、戸田、波勝崎、石廊崎、レースにも出ました。まもなく「行こう!八丈島へ、10日は会社を休め、会社を休めなければ、自分で会社をやれば、休みは自由にとれるぞ」と言われ、私は八丈島に行くために、スターランドを創業しました。創業したら、忙しくて年中無休となり、八丈島どころではありませんでした。行きたいところ ヨットで八丈島へ です。



(担当/杉山茂範君)